

おおづまち議会だより

OZU

2022
101号
9月定例会

CONTENTS

- 一般質問…………… 10
- 研修レポート…………… 15
- 意見交換会…………… 16

本会議動画配信
はじめました

議会だよりが
読めるアプリ
フキイロ



10月8日(土) 大津保育園運動会

議会を観ての生の声

9月定例会の傍聴者数のべ41人、ライブ配信再生回数622回 録画配信再生回数94回(10/13時点)



おがた たいすけ
尾形 泰輔さん
(大林)

【 若い人が、魅力的なまちづくりを 】

役場の4階、とっても綺麗な議場で、眺めもいい所だ。

10月に町民数が3万6千人を超え、世界的企業の近隣地域への進出の影響で更なる発展が見込まれている町になっている。

当然これに関連した質疑応答も含まれた住民目線の具体的な内容が多い。傍聴人は私を含め8名、皆さん高齢者だ(コロナ禍でどの議会でも傍聴者が激減しているようだ)。

最新機器で映像配信もこの時代当たり前に実施されている。

理想かもしれないが、若い人が町政に興味を持ち、傍聴し、選挙投票するという形になれば、良い意味での住民パワーとなり魅力的なまちづくりが可能ではないかと思った。



ふじい
藤井 えつこさん
(森)

【 答弁が具体的ではない。もう少し追及してほしい 】

今回、初めて議会を傍聴しました。

感じたことは、議員さんからの意見や提案に対して、役場執行部からの答弁が、進捗状況、対策、いつまで等に関して具体的ではないということです。

その点については、もう少し追及した方がいいのではないかと感じました。議員さんや職員さん方も熱心に議論され、私もより良い町にする事は何か、考える機会になりました。

次回定例会は

12月5日(月)開催予定

(日程は変更になる場合があります)
日程 12月5日(月)～13日(火) (予定)
会場 庁舎 4階 議場

議会広報編集特別委員会

編集:(委員長)三宮 美香/(副委員長)豊瀬 和久
(委員)時松 智弘/田代 元氣/大村 裕一郎
発行責任者:(議長)桐原 則雄

令和4年11月1日 第101号 発行/熊本県菊池郡大津町議会
編集/議会広報編集特別委員会 印刷/株式会社キャップ
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大津1233 ☎(096)293-8989

UD
FONT
県や市へ読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

定例会総括

委員会レポート

一般質問

研修レポート

PTA意見交換会

大学生レポート

住民の声

●●●● 編集後記 ●●●●

議会だよりに関する意見交換会でも「ポイントやクーポンなどの特典を付けてみては」というご意見がありました。

最近では、いろんなところでポイントを貯めることが多くなりましたが、4月から始まった熊本健康アプリ「もっと健康!げんき!アップくまもと」も、「歩く」など日々の健康づくり活動を行うことでポイントを獲得、貯まると特典が受けられるスマホアプリです。私も、先月開催された上半期抽選会に応募してみました。

抽選の結果、なんとコンビニなどで使える3,000円相当のデジタルギフトに当選しました。

ぜひ、皆さまも気軽に楽しみながらポイントを貯めてみませんか。(豊瀬 和久)

議員の賛否を公開します

Table with 12 columns: 議題, 菅原剛雄, 荒木俊彦, 津田桂伸, 永田和彦, 坂本典光, 大塚龍一郎, 佐藤真二, 豊瀬和久, 山本富二夫, 山部良二, 三宮美香, 大塚益雄, 市川秀賢, 時松智弘, 田代元気, 大村裕一郎, 賛成, 反対

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。
■賛否表 ○は(賛成) ●は(反対) 葉は(棄権) 欠は(欠席) 早は(早退)
その他の議案については議会ホームページをご覧ください。

大津町議会 検索

誰もが住みたくなるまちへ

大津町のこんなことが決まりました



9月定例会議
会期期間15日間 9月2日～9月16日

予算

9月定例会の議案等は
予算..... 9件
決算..... 8件
条例..... 2件
人事..... 1件

pick up 1 肥後大津駅周辺再整備 1,700万円



くろかわ たかおみ
黒川 卓臣さん(室)

南阿蘇鉄道の乗り入れを見据えた観光客に素通りさせない仕組みづくりや、観光客や地元住民が使いやすい利便性の高い場所となる掘り所づくり、公共交通機関利用における道路拡張や安心安全な場所づくりが入ることを期待します。



てらかど まさふみ
寺門 政信さん(新)

駅や駅前が寂れていると町自体も同じイメージになり、人が来なくなる。駅や周辺に楽しめるお店があり、観光客向けの施設があれば寄ってもらえる。町内の高校に通う生徒が楽しめる環境を作ることによって卒業後も大津町に来るきっかけになる。

pick up 2 小規模事業者支援 3,800万円



なみや りつこ
浪花屋本店七代目店主
古庄 智子さん(室)

熊本県大津町の歴史菓子<銅錢糖>未来へ町の伝統を守り伝え続けられるような支援に期待しています。



さかた ひでき
聖地中津からあげ ぶんごや店主
坂田 英樹さん(室)

大津町は他の市町村に比べて手厚い対応をして頂いています。今後は町民が足を運んで頂くために、折込チラシの無料化など景気回復までのサポートをお願いしたいです。

予算の現状は身の丈にあった額なのか、精査・検証が必要
~令和3年度の決算審査結果について~

一般会計、特別会計及び公営企業会計の全会計を審査した結果、いずれも法令・条例等に基づいた財政運営であり予算の趣旨に沿い適正に行われ不適切等の支出はなかった。

決算審査に当たり、大津町の財政状況を示した結果、経営収支比率や財政力指数等県下46市町村の中でも極めて健全な状況であり、また、国が示す地方公共団体の財政の健全性を示す5つの指標(実質赤字比率・連結実質赤字比率等)もその範囲を十分クリアしており特に問題となる点はなかった。

問題として、特に、一般会計における不用額が多額であり、要因としてコロナウイルス感染症の終息が見送せないなか事業の中止・縮小や進捗遅延として取り組んだ新庁舎建設の最終年度の清算で不用額が生じた面はあるが、平成28年熊本地震以降膨れ上がった予算額のまま推移しており、現状の予算規模が大津町の身の丈にあった額なのか精査・検証する必要があるのではないか。

なお、令和3年度決算審査結果及び監査委員意見等の詳細については、大津町ホームページでご確認ください。

いまむら あきひこ
今村 昭彦 代表監査委員

ひとくみ

- ※1 経常収支比率:一般家庭で言うところの「エンゲル係数」のようなもの
※2 実質赤字比率:家計に例えると「1年間の給料」に対する「年間収支の赤字」がどれくらいあるかを示すもの

議員の視点

(発言の一部を抜粋して掲載しています)



山本富二夫議員
問 認定農家に対しては手厚い助成金などの支援があるが、認定農家以外の支援策について検討はされているか。

答 個人の方に支援ということは一戸以上の農家で組織をしていただく農機具の導入補助制度もあるので、しっかり周知していく。

山部良二議員
問 福祉課の時間外手当が増額になっているが虐待案件が増えている要因や、困難事例はどのようなことか。

答 虐待関連の問題案件が増えており、早期発見、早期解決のために職員も一緒に対応していく必要がある。障害福祉サービスの受付件数、対応の増加もある。

佐藤真二議員
問 新規事業である骨髄移植ドナー支援補助金について制度創設の経緯は。他の自治体では先行しているところもある。支援をさかのぼって受けることはできるのか。

答 熊本県が骨髄移植をされる方の休業補償補助の制度を創設された。菊池都市の2市2町もこのタイミングで制度を設けると聞いています。支援は、今年の4月以降のドナーが対象となる。制度の周知に努めてまいります。

田代元気議員
問 大津町小規模事業者経営継続支援金について、農業者に対しては、売上げに応じて上限10万円まで補助が出たが、今回、一律5万円ということ、どのような根拠で5万円という金額を決めたのか。また、農業者への支援との整合性は。

答 売上げの多少にかかわらず全ての事業者に影響があるということから、町内に事業所を有する従業員20人以下の事業所760件を対象としている。今回は対象者が多いことから総合的な判断で一律5万円の支援をさせていただく。

豊瀬和久議員
問 町営住宅に関する維持管理の民間委託(指定管理者制)の導入を検討しているとのことだが、現在の管理状況を考えれば、早期に専門業者に委託をしたほうが効果的だと思うが、スケジュールも含めた検討状況は。

答 これまで夜間、休日の修繕などの対応で時間がかかり、入居者に不便をおかけする場面もあった。近隣の市町村の状況を調査したところ、民間委託を導入しているところもある。民間委託をするまでは課題が数多くあるので、一つ一つ解決しながら、早期導入ができればと考えている。

荒木俊彦議員
問 ふくしの相談窓口の方は、委託した外部から派遣された人たちで、役場の正職員ではないので決定権がない。果たして、町民からの福祉的な相談や、複雑な相談などを適切に解決させることができるのか。

答 ふくしの相談窓口は、相談者が抱える課題の把握、課題解決のためのプラン作成、相談支援機関等との連絡調整、自立した生活に至るまでの伴走型の支援を行っている。専門的な知識が求められるが、社会福祉士等の国家資格を有しており、その分野に精通しているほか、実務経験もあり、適切に解決させることができる能力がある。

時松智弘議員
問 体育施設の中で10年以上保守点検を行っていなかった設備があるとの説明があった。安心安全に使える点検体制と周期はどうなっていたのか。

答 指定管理者制度に移行する前に予算を計上している。今まで個別の設備について専門家の見地にに基づき必要かつ定期的な点検ができていなかった。今後は定期的な保守点検を実施する。

永田和彦議員
問 前年度繰越金確定額が11億円となっている。当初予算では1億円ということであるから10億円の差がある。10億円の差の内容というのは非常に重要である。明確にするために説明を求める。

答 例年であれば6億から7億ぐらいが一般的な繰越額だが、庁舎建設の繰越があり、約3億円の不用額が出ています。それを差し引くと約1億円程度が過剰額です。その原因は、コロナに関係する事業展開が出来なかったことである。今後のウィズコロナに向けて当初予算で出来なかったことを新たな事業を展開していきたい。

財源と制度・周知の充実を



地域にほんご教室研修

日台交流の重要性と多言語化対応の現状と

台湾企業の進出もあり、今後も町内外国人は増加していくものと思う。

これまでの姉妹都市交流や町内に居住する様々な国の方のサポートや今後の事業展開は。

コロナ禍で滞っている国際交流の再興や台湾との重点交流を検討している。

また県と連動した「地域にほんご教室」を通じて外国人住民との交流促進や多言語対応に取り組む予定。

コミュニティ活動を支える傷害保険の重要性

地域のコミュニティ活動は重要性を増している。活動のケガ等を補償する「コミュニティ傷害保険」があるがその実績は。また重大な事故は無かったか。

「刈払い機による窓ガラス損傷」等軽易なものが3件、「交通安全運動期間に安全指導中飲酒運転のトラックにはねられる」等重大なものが2件あった。

意見 事故の内容によっては後遺障害が残る場合もある。対象となる事故や金額など補償内容の見直しを検討してほしい。



オンライン議会の推進とあらたな問題点はないか

今回試験的に、総務委員会ではオンライン形式での審査を行ったが、設定・準備はどれくらい時間が必要か。

必要な通信環境、パソコンの準備、Zoomの設定などが必要。今回はあらかじめの用意もあり5、10分程度で準備が完了した。

意見 突発的な事態に際し委員会が対応できるかが重要なので成果をしっかりとまとめたい。



オンライン議会の試行の様子

すすむICT・DX社会に

総務委員会レポート



スマートフォンでも簡単申請

マイナナンバーカードの普及啓発の取り組みは

マイナナンバーカードの普及率が伸びないのはメリットや必要性がわかりにくいからではないか。

マイナナンバーカードは行政の効率化、国民生活の利便性向上が目的である。今後はDX推進も計画されているので商業施設等での申請サポートなど環境づくりを目指していきたい。

LED化が進む街灯で改修困難なもの

街灯防犯灯がLED化されて好評を得ている。光熱費の削減もできている一方、町内にはLED化が難しい街灯があるとも聞く。対策は。

街灯の光熱費については月15万円、年間200万円の費用削減につながっている。

一方、役場北側の県道大津植木線沿いや美咲野地区等に特殊なデザインの街灯があり、個別に検討しLED化を行っていく。



特殊なデザインの街灯

男女共同参画推進と町の管理職登用率は

「男女共同参画推進プラン」が示されているが、役員職員における管理職の女性比率の目標設定は。

女性の管理職登用率は20%を目標に設定しており総務課が策定する他の計画でも同じく20%としている。

令和4年3月時点での女性の管理職登用率は17.9%となっているが、係長級の登用率は46.4%で今後は経験や年月を経て登用は進んでいくものと考えている。



ひと口メモ ICT・・・情報通信技術。(IT(情報技術)とほぼ同義。国際的にはICTの方が定着している)

ひと口メモ DX・・・デジタル技術によって、ビジネスや社会、生活の形・スタイルを変える(Transformする)ことです。

企業誘致は

工場等振興奨励補助金の補助額は、他の市町村に比べて高いのか。企業誘致するにあたって、企業側が立地先を選択するうえで影響はないか。

A 近隣市町村ともあまり差がない内容となっているが、企業誘致にあたってのインセンティブになるので、今後更なる見直しを検討し、町の優位性をもって企業誘致に取り組む。

おおづまちか 大津町はどのように変わるのか



町の全景写真

駅周辺の開発は

Q 旧57号とバイパスを繋ぐ道路が少ないことで住民は困っていると思うが、駅周辺整備の中でこのような道路整備の考えはないか。

A 線路の上を越すオーバークロスや下を潜るアンダーパスなどを考えたが、道路構造令等の基準に合致せず、維持管理費がかかるため、新しいルートを検討も含めどのように行うか考えていく必要がある。



駅周辺

空港アクセス鉄道は

Q JRの空港アクセス鉄道は肥後大津駅からの分岐になる可能性があるため、道路整備との一体性が重要だと思うが、一般財源1,700万円を補正するにあたり、無意味なものにならないようにして欲しい。

A 判断のタイミングは難しいが、県にアピールする場面でもあり、大津町の玄関口として今後活かすような町のPRも駅周辺を含めて進めていく。



肥後大津駅北口

はんどうたい かんれん きぎょう しんしゅつ 半導体関連企業の進出で

経済建設委員会レポート

雇用の確保は

Q 雇用確保推進事業が行われているが、これは2次産業だけに限らず、1次産業、3次産業においても取り組まなければいけない。中学生、高校生にも選択肢を与え人材確保に取り組むべきではないか。

A 現在、広報誌で「おおづのしごと」として企業紹介を行なっているが、以前は農業者や商業者の紹介も行っていた。この他、異業種交流やゲストティーチャーとして学校での農業の授業などにも取り組んでいたことから、今後は全産業の紹介についてしっかりと取り組んでいきたい。



企業ガイダンス

埋設管下の湧水は

Q 町道駅前楽善線歩道補修工事で管を歩道下に通して排水させているとのことだが埋設管下の湧水は問題ないのか。

A 事前ボーリング調査で水がある層を把握しており、同じ高さに単粒砕石で有孔管を巻き込んで排水させる構造なので問題ない。



町道駅前楽善線歩道

工業用水道の給水能力は

Q 新たに進出する企業のために給水する能力はあるか。

A 現在、4つの水源地の給水能力は1日に4,700tで、中核工業団地内に立地している企業でほぼ限界となっている。新たに水源地を設置して給水量を増やすことは可能と思われるが、下水道の処理能力が不足しているため、長期計画の中で検討していく。



工業用水道施設

文教厚生 委員会 レポート

ちょうみん あんしん 町民が安心できる



給食を食べている園児

安定した給食の提供を

Q 町内保育所等への給食費補助について、10月以降、様々な食材の値上がり懸念されるが、今回の補助で十分か。

A また、補助はいつからか。

Q 今回の補助は、学校給食センターと同様に、主な食材の昨年度価格と比較し算出している。

A 各園に聞いても経営に影響するほど厳しい状況ではない。補助は、今年度分を交付する。

ふくし きょういくかんきょう こうちく 福祉と教育環境の構築を

近隣の市町が実施している「運転免許証自主返納者への特典」

市町名	サポート内容
菊池市	市内共通商品券「めぐるん券」(1,000円相当)もしくは「ベンリカー/あいのりタクシー共通乗車チケット」(1,000円相当)の交付。
合志市	コミュニティバス回数券(自主返納者無料乗車券10枚限り10セット)を1回限り交付。
菊陽町	運転経歴証明書の交付に係る申請手数料に対する補助金を交付。(補助金の額は1,100円) タクシー利用券30,000円分を1回限り交付。(県内のほとんどのタクシー事業者で利用可。)

※熊本県ウェブサイト「運転免許証自主返納者への特典」(令和4年3月現在)の紹介から抜粋

免許返納者への支援が必要ではないか

Q 近隣自治体では免許返納者に対し、タクシー券の補助などをおこなっている。町としても同様の支援が必要ではないか。

A 免許返納者には公共交通機関が利用できる人がいるが、近隣自治体で一時的な支援を実施している例があるので、今後、検討する必要がある。



ふるさと総合健診

受診率向上に向けた取り組み

Q 「ふるさと総合健診」は自営業の人などが対象となるが、仕事で都合がつかない方などから、早朝健診などの要望はないか。

A 健診時間は朝7時から開始しており、他市町でも同様の取り組みをしている。今後、県による医療機関での個別受診を進める計画があるため、選択肢が増え、受診率向上に繋がる。

児童の放課後活動を充実したものに

Q 学童スポーツクラブの活動状況と、保護者の評価は。

A 延べ174人の子どもたちが活動しており、支援の必要な子どもたちにはスタッフの数を増員して対応している。また、保護者アンケートの意見として、「活動を楽しくしている」「やりたいスポーツが見つかり、クラブチームへ行くことになった」など、好評な意見が多数あった。



児童の放課後活動



日本語指導教室

外国の子どもたちの受け入れ体制強化を

Q 日本語指導とは具体的にどのような事業か。また、他の自治体はどのような対応をおこなっているのか。

A 外国にルーツを持つ児童生徒に、NPO法人による日本語指導を1日2時間、週2日程度、別室にておこなっている。菊陽町では県から配置された職員による日本語指導教室を設置している。本町においても、児童生徒が一定数いることから、県職員の配置を要望していきたい。

指定管理導入に向けて持続可能な施設整備を

Q 町は照明のLED化を進めているが、山村広場のナイター照明をナトリウムランプに交換するのはなぜか。

A LED化が必要な施設が複数ある。今回は指定管理導入に向けた応急的な対応だが、今後、町によるLED化を計画的に進めたい。



山村広場ナイター照明

Q 危機感をもち、早急な対応を

A 来年度も従来通り継続できる



週末の試合風景

たしろ げんき
田代 元気議員

Q 中学校部活動の地域移行について、本年3月議会一般質問で検討委員会の設置や、関係機関との協議を行うなどと答弁があったが危機感も感じられず進んでいないのではないかと。保護者の中には、令和5年度より、「週末の部活がなくなる」などの不安の声も聞かれる中、町はどのような取り組みをおこなってきたのか。また、来年度も教師が週末や祝日も継続して指導することが担保されているのか。



A これまで先進事例研修や関係団体との協議、施設管理の手段として、リモートロック実証実験に向けた協議をおこなっている。今後、早期に検討委員会を立ち上げ、関係機関と協議を重ね、人材の確保や育成、生徒のニーズに沿った活動を検討していく。また、来年度も、これまで通り従来の部活動を継続できると考えている。(教育長)

その他の質問

- ・マイナンバーカードの普及について

Q 親水の要素を活かした誰もが集う公園を

A 国内外から注目され集客力を持つ公園を検討



仕掛け噴水を活用した楽しい公園づくりを

ときまつ ともひろ
時松 智弘議員

Q 国土交通省の新たな時代の都市公園の在り方検討会にて、誰もが訪れたいくなるまちづくり、都市公園の整備の重要性が触れられている。観光活力、子育て、防災、環境、景観、文化を軸に都市公園の再編が住民のニーズであり重要だ。本町は、「水郷」が「売り」であり歴史的遺産と伝承に加え、涼を求める施設、優良な親水公園があれば、観光名所として、町内外の子育て世代の人流が活発になる。町中心部に親水公園の性質を持った都市公園を整備する考えはないか。



A 矢護川自然公園には、特に夏場、多くの子ども連れの家族が訪れにぎわっている。私も以前、利用者拡大へ公園等に、水遊び場の設置を研究したものの、費用などの課題に直面した経緯がある。しかし、昨今の猛暑、今後のまちづくりにおいても、既存施設の水資源の活用を検討し、有利な補助や民間の活用など、様々な視点と財源を確保し、集客力のある公園整備、地域の活性化につなげていきたい。(町長)

その他の質問

- ・町のPR戦略の指針とSNS時代における情報提供の強化について
- ・消防団の活動服のデザインと交付要領について

一般質問

町政を問う 9月定例会

一般質問に16名中9名が登壇



町のさまざまな問題・課題について、議員が町に考えを問うのが一般質問です。議員は政策提言も含め、質問することができます。ここでは、質問した議員ごとに一項目を要約してお知らせします。一般質問のライブ・録画配信を行っています。顔写真横の二次元バーコードからご覧になれます。※一般質問の記事に関しましては、各自が編集したものを掲載しています。

Q 共生社会の実現へ 手話言語条例を制定すべき

A 様々な環境整備に向けた取組の必要性を感じている



役場で第2、第4火曜日に行われている手話教室

とよせ かずひさ
豊瀬 和久議員

Q 「あなたのランブの明かりをもう少し高く掲げてください。見えない人の行く手を照らすために」とは、障がい者の教育福祉の発展に尽くしたヘレンケラーの言葉です。ヘレンケラーは、障がいのある人々を、もっと気にかけて、みんなが見える世界、住みやすい環境づくりの重要性を訴えました。本町においても、共生社会を実現させるために、町民の理解促進と、手話の普及に関する基本理念などを定めた手話言語条例を制定すべきだ。



A 聴覚障がい者の生活利便性向上策としての手話言語を総合的に考える視点は大切だと考えている。町の障がい者施策の最終的な目的としては、全ての方々が日常生活や社会生活に不自由を感じることのない豊かな社会環境や基盤を整えることだと考えている。聴覚障がい者はもちろん、視覚障がいなど様々な障がいに対して、音声言語や点字、その他バリエーションなどに至るまで様々な環境整備に向けた取組の必要性も感じている。(町長)

その他の質問

- ・ジビエの利用拡大について
- ・指定管理者制度に関する運用指針の見直しについて
- ・土地区画整理事業について

消費生活相談体制のさらなる強化

A 町民に寄り添った 総合的な支援を行う



やまべ 山部 良二議員



Q 今年の4月から、成人年齢が引き下げられ十八歳から親の同意なく自分の意志で契約できるようになり、安易に契約しトラブルに巻き込まれる可能性がある。
また高齢者を狙う消費者トラブルも年々増加しており今後相談業務の更なる強化が必要ではないか。

A 現在、本町では、菊陽町西原村と合同で消費生活相談広域連携体制を整えている。その中で、複雑かつ高度化する悪質な被害に対応するため、相談員の資質向上を図るとともに、役場組織の横断的な連携による重層的な支援と行政機関との連携強化を図っていく。(総務部長)

その他の質問

- ・持続可能な地域公共交通について
- ・家庭教育支援条例について

1 マイナンバーカードの普及について 2 外国人の高度人材呼び込みについて



ながた かずひこ 永田 和彦議員



- 1 マイナンバーカードの普及について
論点
・変えられない時代の流れと行政経費の削減
・公的データの活用で町民を守るカードとの認識
- 2 外国人の高度人材呼び込みについて
論点
・世界的な高度人材不足は明白。争奪戦は住居地域も同じであり競争に勝ちまわすべく
・結果として高度人材が育つ町へと向上するため
※ 実際の議場議論はインターネットでご覧ください
※ 町民の皆様への御意見お願い致します



DV被害者に住宅の提供が求められている

A 町営住宅への緊急入居ができるようにしたい

DV被害に關する相談窓口 大津町 hp より
DV (ドメスティック・バイオレンス) とは、配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった人から振られる暴力で、暴力を用いて相手を支配しようとする行為をいいます。
身体的・精神的・性的・経済的・社会的な暴力
子どもを利用した暴力 これらはすべてDVです
相談機関
熊本県女性相談センター (DV 相談専用電話) TEL096-381-7110
熊本県警察本部 9110 または TEL096-383-9110 24 時間
(最寄りの警察署または交番・駐在所でも受け付けています。)
大津町役場 人権推進課 男女共同参画推進課 TEL096-293-7920

あらかし 荒木 俊彦議員



Q DV による被害者の多くは女性であり「DV 防止法」が改正され被害者救済体制が町にも求められている。
大津町ではDV被害者への総合的な窓口体制ができていない。福祉・教育・医療・住宅などの連携した体制が必要だ。
被害にあわれた場合、一番の問題は安心できる住まいである。国も15年前から住宅の提供を要請している。町営住宅への緊急入居など改善が必要ではないか。
相談者の多くの方は女性であり、経済的な不安や住居の問題等多くの不安を抱えて相談に来られている状況があり、相談者に寄り添った対応が求められている。
DV被害者救済のため、国の指針とおり、町営住宅に緊急入居できるように見直しを行う。(町長)

その他の質問

- ・生活困難者にエアコン設置援助を
- ・町教委の旧統一協会関連ピースロード名義後援取り消し

町内全小学校で国際交流をするべきではないか

A 交流活動ができるよう働きかけていく

おおむら ゆういちろう 大村 裕一郎議員



小学校での交流の様子

Q 全国的なグローバル化の波を受け大津町でも小学校単位での国際交流が行われている。これは、子どもたちのコミュニケーション能力の向上や主体性を育む上で非常に重要なものである。しかし、大津町では大規模校では交流が行われているが、小規模校では行われていない。
今後、大津町ではさらにも国際化の波が押し寄せられるものと予想されるが、この波を乗り越えるため大津町内の全小学校で国際交流を行うべきではないか。
条件を整えば、今後は小規模校においても、交流の内容及び方法を工夫し、交流活動ができるよう、教育委員会としても、高崎市教育委員会等への働きかけをしていきたいと考えている。(教育長)

その他の質問

- ・空き家対策について

広報編集特別委員会 研修レポート

- テーマ**
1. 絶滅危惧から持続可能な議会広報
 2. 住民に伝わる情報発信と広報紙作成のポイント
 3. 優秀議会広報が教えてくれること

令和4年9月21日(水)、東京都シェーンパッハ・サポーター1階「利根」において全国町村議会広報研修会が開催されました。住民に情報が伝わる広報紙とは、①住民参加による共感、②写真と文字のバランスを考え、③タイトルや見出しを工夫したわかりやすさを意識して編集することが重要とのことでした。

また、伝えたいことが住民に伝わったかどうかを考えて編集に取り組むことを通して、これからの「おおづま議会だより」の発行ビジョンをどのように考えるのかを学びました。

今回の研修を通して、議会だよりの内容を常に見直しながら、住民に発信した情報が理解してもらえているのかを確認していきたいと思います。



熊本県町村議会 議員研修レポート

- テーマ** 「地方創生とまちづくり」
徳島県神山町
～人口5000人の小さな町はなぜ進化し続けるのか～



令和4年10月4日(火)、熊本県立劇場コンサートホールにおいて熊本県町村議会議員研修会が開催されました。徳島県神山町では、「日本の田舎をステキに変える」を合言葉に、創造的な人材を呼び込む「アーティスト・イン・レジデンス」や神山塾、サテライト・オフィス誘致などにより、移住支援に力を入れ、人口構成の健全化を図られています。ICTインフラ等を活用し、多様な働き方を実現できるビジネスの場としての価値を高めることにより、農林漁業のみに頼らない、バランスのとれた持続可能な地域を目指す取り組みもされています。

また、ふるさと納税を活用した学校設立「神山まるごと高専」プロジェクトとして来年4月には、学生数200名の学校が開校することです。

本町においてもTSMCの進出などによる環境の変化に対応しながら、人材集積と地域内経済循環による地方創生に取り組んでいきます。

Q メガソーラーには町独自の条例の制定が必要

A 条例制定により、住民の安全・安心を守る



やまもと 山本 富夫 議員



大津町の太陽光発電所

Q 地元紙に、南関町からメガソーラーの建設現場から大量の土砂が流出し、川の濁りが続き住民が懸念しているとの記事が掲載された。

A 本町の平川地区住民説明会でも想定外の大雨時の水害を不安視する声が多数聞かれた。町内の一部、一部の太陽光発電所では管理が十分でない場合がある。メガソーラーに関する町独自の条例の制定が必要ではないか。

A 条例には一定の抑制効果があると考えている。危険地域におけるメガソーラーの新設抑制に対して、町としてできる手段は限られているが、迅速かつ丁寧な条例を制定し、住民の安心・安全を守る。(町長)

意見 町民の安心安全のために、早期の条例制定を。

その他の質問

- ・町独自の先行投資をすべきだ
- ・農業経営安定化への取り組みを町は支援すべきだ

Q ヤングケアラー支援体制と整備を

A 早期発見と関係部署との連携強化を図る



おおつか 大塚 益雄 議員



Q 大人に代わり日常的に家事や家庭の世話をするヤングケアラー問題については全国的にも増加傾向にあり社会問題化している。

A ヤングケアラーとされる問題は、支援体制は十分か、また、整備はされているのか。

Q ヤングケアラーと関係機関が密に連携して見守り、必要に応じて支援を実施している。

A 一方で本人が気づいていないといったわかりずらく表面化しづらいこともあるため、引き続きヤングケアラー問題を多くの方に知っていただく。

Q 大人に代わり日常的に家事や家庭の世話をするヤングケアラー問題については全国的にも増加傾向にあり社会問題化している。

A 児童生徒の日常生活の変化やひとりひとりの子供に目を配りながらヤングケアラーをはじめとする児童生徒の生活環境など課題の早期把握に努めていく。

今後も授業場面においてもヤングケアラーを取扱うなど児童生徒の気づきを促す取り組みを進めながら保護者や地域住民向けとして学校だけでなくホームページでの認知度の向上に努めていきます。(教育長)

その他の質問

- ・外国人在住者に対する町の支援について

若者の視点

尚綱大学生によるレポート 29

10月5日(水)に、尚綱大学九品寺キャンパスにて広報委員4名と現代文化学部2年生の生徒34名とで意見交換会を行いました。

意見交換会を終えて



こうらん 黄 蘊 准教授

教員の視点 (黄) : 私の二つの異なる授業に半年1回大津町の議員たちにお話しに来ていただいています。毎回対面していただいている学生は異なるうえ、仮に同じ議員でも毎回そのお話しのポイント、内容が異なっており、私も楽しく拝聴させていただいています。今年4月に続き、今回も意見交換会を実施しました。前回とは趣の異なる学生レポートをご紹介します。



2年 かねたけ 兼武 里菜さん

より多くの人に読んでもらえるように工夫をしている

私が意見交換会で特に印象に残ったのは、議員本人が議会だよりを作成していることです。中身の文章に議員の方々が関わっているとは思っていましたが、取り上げる内容や雑誌のデザインもしているというのは予想していませんでした。表紙や文章、レイアウト等をより多くの人に読んでもらえるように工夫していると知り凄く大変な作業だなと思いました。実際交換会で皆から意見を集めた時に私も気付かなかった視点が多く出たりして、人にメッセージや情報を伝える上で考えることの多さを感じました。

議員の方々の活動や議員になるまでの遍歴、なろうとしたきっかけ等多くのことを知ることができました。今回話をしてくださった方は、皆さん最初から議員になろうとしていたわけではなく他の仕事から議員になった人が多かったです。議員になった理由も様々とても興味深かったです。私は議員の方々は最初から目指している人が多いのかと思っていたので、色々な経歴の方がいることを意外に感じました。また、議員になっている方は自ら意見を出し行動力のある方が多いと思いました。



2年 ひがしやま 東山 奈穂さん

議会だよりを議員さん自身が作っていることに驚き

これまでは議員と私たちは距離がある関係だと感じていましたが、今回の意見交換会を通して議員とは意外と身近な存在であることが分かりました。

まず、議会でどんなことを話しているのかを全く知りませんでした。大津町の議会では新しい学校の建設、ゴミ袋のサイズ、給食費の無償化、医療費の18歳までの無償化など私たちの生活に重要な話題について話し合っていました。

次に今回初めて大津町の議会だよりを読みました。大津町の16人の議員がトピックを取り上げ答えており、高校生や大学生の特集など盛りだくさんの内容を、議員らが作っていることに驚きました。議員自身が議員だよりを作ることで、町民の方にわかりやすく議会の内容を伝えることができると思いました。これから自分の住んでいる地区の議会だよりもじっくり読んでみたいと思います。

みなさんのお話を聞いて今回来ていただいた4人の議員はそれぞれ異なるきっかけで議員になろうと決意したのだと分かりました。選挙に落選してしまったり、無職になってしまうリスクがある中で議員になると決心できる勇気がかっこいいなと思いました。

PTA 役員の皆様との意見交換会



くろちと まい え (倉本 佳恵さん 美咲野小/母親部長)

令和4年9月30日(金)大津町役場4階会議室にてPTA役員9名から「議会だより」に対するご意見をいただきました。

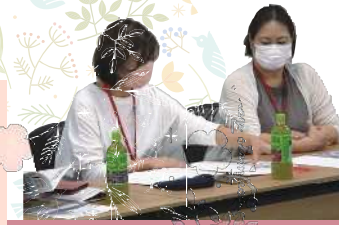
当日参加できない役員の皆様からもご意見を提出していただき、議会広報に対する意識の高さを感じました。ありがとうございました。



さかたし かずひろ (坂梨 和洋さん 北小/会長)

【良いところ】

- 読みやすい
- QRコードがいい
- 写真付きはいい
- ページ端の見出しがあるからわかりやすい



なかがわ かよこ (中川 香代子さん 鹿川小/母親部長) 吉永 千秋さん (吉永 千秋さん 議川小/会長)



なかがま ゆか (中金 由香さん 大津小/母親部長)

【悪いところ】

- 写真の画像が粗い
- フリー素材が多い
- マンネリ化している



ふるしよ としゆき (古庄 利之さん 東小/会長) ねじもと よしたか (藤本 義隆さん 南小/会長)

こんな提案をいただきました。

- 表紙にもっとインパクトが欲しい。例えば北海道鷹栖町議会のような。
- 子どもたちの意見を聞く。
- SDGs12「作る責任 使う責任」から渡すだけでなく使うものという意識からクーポンをつける。
- 子ども向けの内容での発行。
- 「広報おおづ」と合体。
- ポイント制の導入。コメントを入れた人などに水・水のポイントを入れたら…。
- 普段の議員の様子を知りたい。
- 漢字にルビを入れてあると子どもにも読みやすい。
- 活字を増やしてほしい。マイノリティーの意見も入れてほしい。
- 尚綱大学の記事に工夫をしたら。



きよはら さおりさん (清原 さおりさん 大津北中/会長) のやま ひろみさん (野山 ひろみさん 大津北中/母親部長)